

第49回 日本死の臨床研究会 年次大会

原点回帰 ～生、そして死を慈しむ～

会期 2026年10月31日(土)・11月1日(日)

大会HPはこちら



<https://jard49.jp/>

市民公開講座 2

死の前後に起きる不思議なできごと

柳田邦男 ・ 川越厚

10月31日 (土)

16:20～17:20

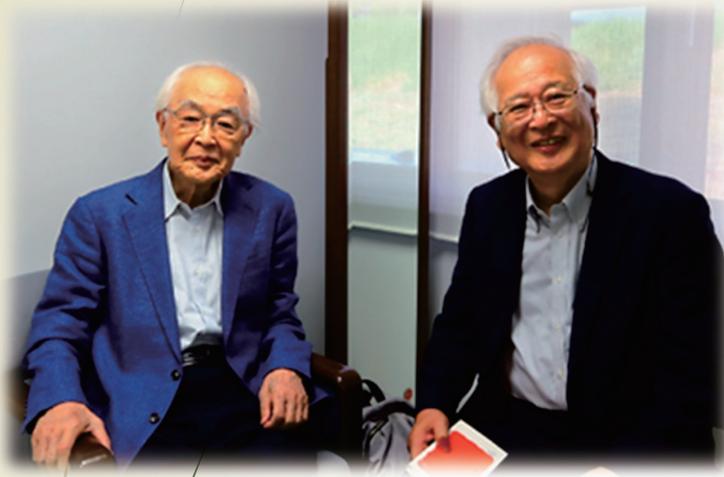
第1会場 (講堂)

事前予約不要
無料参加は現地のみ

参加
無料



*他のプログラムの参加には大会への事前参加登録が必要です
*甲府駅南口～池田キャンパス間を大会用無料バスが運行予定



柳田邦男 (やなぎだくにお) ノンフィクション作家。1936年栃木県生まれ。NHK記者を経て作家活動に入る。「現代におけるいのちの危機」をテーマに、災害・事故・病気・戦争などの問題について半世紀以上にわたり取材・執筆を続けている。「生と死」に関する主な著書に『「死の医学」への日記』『新・がん50人の勇気』、共著『がん患者の幸福論 人の心に贈り物を残していく』などがある。近著は『「死後生」を生きる 人生は死では終わらない』『それでも人生にYesと言うために JR福知山線事故の真因と被害者の20年』。



川越厚 (かわごえこう) 在宅ホスピス医のパイオニア。1947年山口県生まれ。茨城県立中央病院産婦人科医長、東京大学講師、白十字診療所在宅ホスピス部長、賛育会病院院長を経て、2000年に在宅ケア支援グループ・パリアン設立・同代表。訪問診療のほか訪問看護、居宅介護支援、ボランティア等のサービスを地域に提供した。2021年から在宅ホスピス研究所パリアン(北杜市)代表。森の診療所医師。『家で死にたい』、『がん患者の在宅ホスピスケア』、『ひとり、家で穏やかに死ぬ方法』など著書多数。近著は『ヒロシマ遡上の旅 父に捧げるレクイエム』。



会場 山梨県立大学 池田キャンパス

〒400-0069 山梨県甲府市池田1-6-1

ハイブリッド開催

対面とライブ配信 (Zoom) を併用 / 一部コンテンツをオンデマンド配信予定
オンデマンド配信期間: 開催 2 週間後～ 12 月末頃

